

いっしょでんわ

熊本県立
芦北支援学校



第176号

令和4年3月1日
発行

紙面内容

- ◎ 新児童生徒会役員紹介
- ◎ 卒業生特集
- ◎ 活動紹介
- ◎ 卒業生の進路情報等

佐敷分教室

令和3年11月26日に実施された新生徒会役員選挙により、生徒会長1名、役員3名が決定しました。決定後の委員会活動の中で作った『笑顔の花々生徒が信頼し合い、周りの変化に気づく学校』というスローガンを掲げ、一年間の任期の中で、学校の中心となつて、より良い高等部佐敷分教室を作り上げてほしいと思います。

(境野)



「一年間の締めくくりに 日々是れ好日」

校長

富永佐世子

厳しかった冬が終わり、暖かい春がやって来ます。本年度は小学部訪問教育一人、分教室七人の児童生徒が卒業します。それぞれ多くの人と出会い、多くの学習や経験を積み重ねて成長されました。小学部の卒業生は中学部に進学し、今後も様々な教育活動を継続していきます。分教室の卒業生は一般企業や就労支援の事業所などの進路先に進んでいきます。それぞれの場所で自分の力を大いに発揮して、楽しく充実した毎日を過ごしてほしいと思います。卒業される皆様に心からのエールを送りたいと思います。

さて、中国唐代の雲門文偃という雲門宗の開祖をご存じでしょうか。雲門禪師は修行の時に「あなたにとって、良い一日はどんな一日ですか」と問われたそうです。もちろん、良いことがたくさん起こったり、何かの記念日だったりすることが多いのではないかと思います。良い事ばかりが起る一日などあまりありません。逆にいえば、今のコロナ禍の状況など、嫌な事ばかり起こると

感じる日々にも、良いことは起こっています。ただそのことに目が向いていないだけなのです。

私たちは、どんなことにも運・不運を決めつけて考える傾向があります。でも、本当はどんな日も特別な一日であり、晴れようが雨が降ろうが、その日はもう二度とやっつこない、かけがえのない人生の一日なのです。そのことに気づけば、一日一日を大切に生きる方へと変わっていくのではないのでしょうか。ただ好日を願って生きるのではなく、「毎日が吉日だ」と思って、好日を見出して生きていけば、きっと良い人生を過ごせるようになると思います。

恐れていた新型コロナウイルス感染症の「第六波」が起り、収束が見通せない状況下ではありますが、本校も感染症防止対策を最大限に行いながら、職員一同、「学びの保証」を合い言葉に各学部・分教室で様々な学習活動に取り組みでいきたいと思えます。

本校の教育のために、御支援や御協力をいただきました多くの皆様に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

新児童生徒会役員紹介

本校

昨年11月に児童生徒会役員選挙が行われ、その後の役員認証式で5人の新役員が誕生しました。頑張つて芦北支援学校を引っ張ってほしいです。(大瀬)

- ・ 会長の抱負
「勇気を出して挑戦」
- ・ 役員抱負
「元氣、頑張る」
「笑顔であいさつ!」
「仲間になろう」
「みんなに伝える」



卒業おめでとうです！

佐敷分教室

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。思い出せばあつという間の3年間でした。新型コロナウイルス感染症や7月豪雨による影響で生活様式や生活環境が変わる中、たくさんの方の支援や協力のおかげで幾多の困難を乗り越えることができました。皆さんはこれから社会人として、大きな舞台に立つこととなります。新たな出会いや経験をしていく中で、楽しいことや新たな出会いに胸躍らせることでしょう。時には辛いことや悲しいことに直面し、悩むこともあると思います。そんな時には是非思い出してください。共に生活した友達や支えてくださった方がいることを。先生たちはいつまでも、皆のことを応援しています。皆さんの人生が華やかに光り輝くことを切に願っています。(江口)



毎日休まず登校し、1日をみんなと楽しく過ごし充実した3年間となりました。卒業したら立派な大人になれるように頑張ります。楽しい思い出をありがとうございました。(Iさん)

思い出はダンス発表会、修学旅行、生徒会の仕事です。卒業したら誰にでも挨拶のできる大人になりたいです。在校生のみなさん、今までありがとうございました。(Kさん)

思い出は、修学旅行のアフリカンサファリで、大きなはさみを使ってお肉や野菜をライオンなどに餌やりをしたことです。クラスのみんな、3年間ありがとうございました。(Kさん)

分教室でクラスのみんなに出会えたことが私の宝物です。卒業したら、一生懸命働いて、立派な大人になりたいです。お父さん、お母さん支えてくれてありがとうございます。(Sさん)

修学旅行の城島高原パークで「ニュートン」というアトラクションに乗ったことが思い出です。卒業後は人の役に立てる大人になりたいです。時々遊びに来ます。(Mさん)

体育の授業で、いろんなスポーツができて楽しかったです。将来は積極的に行動し、周りの人に頼ってもらえる人になりたいです。たまに学校に遊びに来ます。(Mさん)

思い出はダンス発表会でメインポジションで踊れたことです。将来、何事も自分で取り組む自立した大人になります。最後に先生方、3年間大変お世話になりました。(Yさん)



小学部訪問教育

Tさん、ご卒業おめでとうございます。小学部訪問教育のリーダーとして、みんなを引っ張ってくれましたね。口を動かしてたくさん気持ちを伝える姿、左手を動かして様々な活動に取り組む姿、右手を動かすことにも挑戦する姿など、とても頼もしかったです。中学生になっても、たくさんの方に挑戦してください。(竹下)



活動紹介

小学部 ストリーミング

プレイルームに遊び場を設置し、遊びたい遊具で楽しんでいます。友達に車を押ししてもらったりトランポリンで揺れを楽しんだりと、時間いっぱい遊んでいます。時間が来てもまだまだ遊び足りないようでした。(東)



高等部

感染症等の影響で計画が進められなかったALTの来校が、昨年12月に久しぶりに実施されました。新しいALTワレン先生が初めて高等部の授業に参加され、クリスマスの話や歌、ゲームなど、生徒たちと一緒にクリスマスパーティーを楽しめました。(篠原)



中学部

中学部恒例の門松制作に取り組みました。今年は、31個の門松を完成させることができました。9月に植えた花苗を寄せ植えして、中学部みんなで協力して、心を込めて作り上げました。今年度は餅つきをして、鏡餅も作りました。今年はコロナも収束し、さらに良い年になることを願っています。(園山)



佐敷分教室

今年度は感染症予防対策を講じて歓迎遠足、体育大会、販売会、現場実習、修学旅行、芦高祭、長距離走大会といった行事や様々な学習に取り組みました。また、芦北高校との交流及び共同学習も可能な形で実施しました。次年度も安全第一で充実した学校生活にしていきたいと思えます。(門永)



訪問教育

「腕や手、手指を動かす学習」や「活動選択の学習」「気持ち伝える学習」「見る力を高める学習」など、一人一人が自立活動にじっくり取り組みました。学習の中で、手や腕、身体などを動かす姿、気持ちなどを伝える姿、考える姿、などが見られました。また、手紙やVTRを通じたやりとりをしながら友達との繋がりを大切にしてきました。手紙やメッセージVTRなどを見る際に笑顔を見せたり口や手を動かしたりするなど友達との関わりを楽しみ様子が見られました。次年度も周囲の人との関わりを大切にしながら様々な活動に取り組みしていきたいです。(廣嶋)



保健室より

本校「with Corona」with Corona?

新型コロナウイルス感染症の収束を願うよりも今の段階では「with Corona」が現実的ではないかと思えます。注意をしながら普通の生活ができることを目指すのではなく、注意をすれば普通の生活ができる、という状況を学校や御家庭、地域で保つことが大切であると思います。学校は子どもたちの学ぶ大切な場所です。一日一日がかけがえのない大切な時間です。教育活動が止まってしまわないよう御家庭の御協力のもと引き続き感染予防に努めて参ります。3密の回避、健康観察、環境整備、手洗い、マスク、換気の励行。児童生徒・保護者の皆様が安心して登校できる学校づくりを続けていきたいと思えます。(西崎)

佐敷分教室

11月の保健体育委員会活動で、手洗いの検証実験を行いました。汚れに見立てたクリームを手ぬり、手洗い後、特殊なライトを当て、汚れ(クリーム)がどの程度手に残っているか確認する実験です。石けん有りの場合と無しの場合、それぞれ5秒洗った場合と、30秒以上洗った場合で比較しました。結果は石けん有り、30秒洗った場合が最もきれいになり、石けん無しで5秒洗った場合はほとんど落ちていませんでした。

実験結果は、全校集会で発表し、手洗いの大切さをみんなで共有しました。今後も生徒・職員が一丸となって感染症対策に取り組んでいきます。(金子)



芦北高校との

合同長距離走大会

佐敷分教室

令和3年12月22日(水)に芦北高校と合同での長距離走大会がありました。学校を出発して計石港で折り返す8kmと、外周2周3kmの2コースで行いました。当日は晴天に恵まれ、気温も暖かく絶好のマラソン日和でした。沿道では保護者の方々が応援してください、参加した全員が見事完走することができました。



佐敷分教室ダンス

「HERO」
佐敷分教室

1月に開催予定だった熊本県ダンス発表会に向けて、分教室の全員で取り組んできましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため残念ながら中止となりました。ダンスを発表する場として、動画を撮影し、DVDにしました。生徒たちは新しい衣装を身にまとい、カメラを向けられると楽しそうに踊っていました。(大塚)



進路情報

令和4年3月、高等部佐敷分教室7人の卒業生が、12年間の学校生活を終え新たな生活へ向かって、芦北支援学校を巣立っていきます。高等部の卒業は、人生の大きな節目です。これから先の人生は楽しいこと、つらいことなど様々なことがあると思いますが、悩んだり、困ったりしたときは一人で悩まず、学校や支援機関などに相談してください。皆さんのことをしっかりと応援していくために、学校も支援機関(支援相談事業所)と連携しこれからも皆さんを応援していきます。卒業しても、学校での行事や、同窓会の活動などにも元気な姿を見せに来てください。

これからの皆さんの新たな旅立ちに乾杯!
「主な進路先」
・あしきた農業協同組合
・株式会社ながしよう
・メイクアップ八代
・ヒライ八代工場
・とらいふ
・水俣福祉作業所
・みつば学園
(中村)



人権教育の取組

今年度も児童生徒の命を最優先にした授業づくりを念頭に先生方には取り組んでもらいました。毎年世界人権デーのときに本校独自の人権学習を実施しています。本校では全校集会時に「さるかに合戦」のアニメを見て、「命」の大切さと相手の立場に立った行動を取ることに大切さについて学習しました。佐敷分教室では政府が制作した拉致問題学習用映像「めぐみ」を視聴して拉致問題の発生状況、現状と課題などについて学びました。拉致問題について初めて内容を知り驚いた生徒もいました。が、現在も続いている問題だと学びました。(五嶋)



地域支援便り

新型コロナウイルス感染症拡大防止ということで新しい生活様式がいわゆるようになりました。子どもたちの生活にも変化が見られます。外で遊んだり、家族で出かけたことも制限され、家で過ごす時間が長くなったことも挙げられます。子供たちは、家庭の様子や学校の様子、社会の様子から様々な不安やストレスを抱えています。子どもたちのこころのSOSは、睡眠、食欲、体調、行動に表れることが多いと思います。睡眠のリズムがぐずれていませんか？食欲はありますか？体がだるそうではありませんか？学校に行きたがらないということはありませんか？子どもたちの様子がいつもと違うとか、近頃変わってきたという変化に気づいたら、まず、声を掛けてください。「元気がないみたいだけど、何かあった？」「別に。」「大丈夫。」と返事が返ってくるかもしれませんが、無理に話を聞き出そうとするのは避けたいです。声を掛けることが『あなたを大事に思っているよ』というメッセージになると思います。(深浦)

緊急時や災害時等に活用する一斉メール配信システム『あしえん安全メール』の運用にあたり、下記の2社からの協賛をいただいています。

- ゆめタウン八代 様
- 熊本日日新聞社 湯前販売センター 様

「いとでんわ」は芦北支援学校の情報発信紙です。地域と共に成長する学校でありたいと考えています。関係者の皆様、地域の皆様のご意見をお待ちしています。

《御意見・問い合わせ》
TEL 0966-82-4627
FAX 0966-82-4606
MAIL ashikita-s@pref.kumamoto.lg.jp

今年度も1年間、ありがとうございました。来年度もよろしくお願ひします。